

平成18年9月7日

平成17年度の財務諸表について

今般、公立大学法人岩手県立大学は、平成17年度の財務諸表が、平成18年9月4日、岩手県知事の承認を受けましたので、ここに公表いたします。

今回の決算は、本学が公立大学法人となって初めての決算であり、財務諸表は、企業会計原則を基本にしつつ、公立大学法人特有の会計制度を加味した「地方独立行政法人会計基準」に基づき作成したものです。

本学の財務諸表では、平成18年3月31日現在の資産合計は、約346億5千7百万円、経常費用合計約62億3千8百万円、経常収益合計約66億3千万円、臨時損益を加えた当期総利益は約3億9千2百万円となっております。

当期総利益約3億9千2百万円には、資金を伴わない利益として、学業奨励金貸付事業への運営交付金充当見合分が約4百万円含まれており、それを除いた、資金を伴う利益約3億8千8百万円については、中期計画に定めた用途に充てるための「教育研究・施設環境充実目的積立金」に積み立てることとして、今回、岩手県知事の承認を受けたものです。

なお、当期総利益の主な発生要因としては、教員の採用時期のタイムラグや新旧交代による差額効果により、人件費が抑えられたことによるほか、法人としてのコスト意識をもった効率的な執行を図ったことによるものであります。

本学においては、大学運営経費の約7割が県からの運営費交付金で賄われておりますが、運営費交付金については1.5%の経営努力係数により毎年減額される見込みとなっており、極めて厳しい財政運営が求められることから、今後、更なる教育研究活動の充実・発展のため、より一層の経営努力と業務運営の効率化を図りながら、財務内容の改善・充実に努めて参りますので、ご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

公立大学法人岩手県立大学